

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第56回 ビジネス文書実務検定試験 (28.7.3)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第56回 ビジネス文書実務検定試験 (28.7.3)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

近年、貸出数を増やすために、読書手帳を配付している図書館が	30
増えている。書名や著者、借りた日付を記入することにより、読書	60
に対する意欲を高めようと考案された。これによって、利用する人	90
が2倍になった図書館もある。	105
記入する方法には、貸出記録のシールを貼るものや手書きのもの	135
がある。いずれも、自分の読書歴を振り返ることが可能である。も	165
う一度読みたい本を探したり、シリーズ本の何作目まで読んだのか	195
を確認したりするとき、役に立つと好評だ。	217
また、感想や気になる言葉を書き込むことができる手帳もある。	247
記録することが習慣となれば、本を手にする機会にもなる。この取	277
り組みが広まり、図書館を利用する人がさらに増えることを願って	307
いる。	310